

ワークフロー統合管理ソフトウェア

RICOH
imagine. change.

RICOH ProcessDirector



DM発送業務を1通単位で管理。 『RICOH ProcessDirector』は、 PDF配信や基幹業務印刷の効率と運用品質を向上させます。

数百から数万通におよぶ、DMや請求書の印刷ファイル。

RICOH ProcessDirectorは、印刷ファイルに含まれる1通1通のドキュメントを識別し、各工程を通して管理。

強力なデータベースと堅牢なワークフローエンジンおよび、すぐ使えるプログラム群により、
基幹業務印刷と印刷サービスに欠くことのできない統合的なワークフロー管理を実現します。

また、BIツールと連携した「見える化」により、的確な分析と業務改善を可能にします。



ワークフローを進化させ 業務改善のサイクルを回す

BIツールとのインテグレーション

- 従来ある「見える化」は、印刷や製本デバイスから収集したデータに基づく分析を行うものでした。これに対し、RICOH ProcessDirectorのレポート・フィーチャーのもつデータトランスミッターの機能は、デバイスからの情報に加え、ワークフロー処理の中で得られる情報もBIツールに送れます。
- カスタムジョブ属性も、RICOH ProcessDirectorのデータベース情報から抽出できるので、一般的な「デバイスから情報を得る」方法と比べ、ビジネス分析に使えるデータを大幅に増やせ、分析の自由度が増します。
- 今までにない欲しかったデータから、ダッシュボード、チャート、ウィジェットをBIツール上に作り、ビジネス上、真に重要な対象をトラッキングできるようになります。

データに基づき、即納性、生産性、可用性を向上

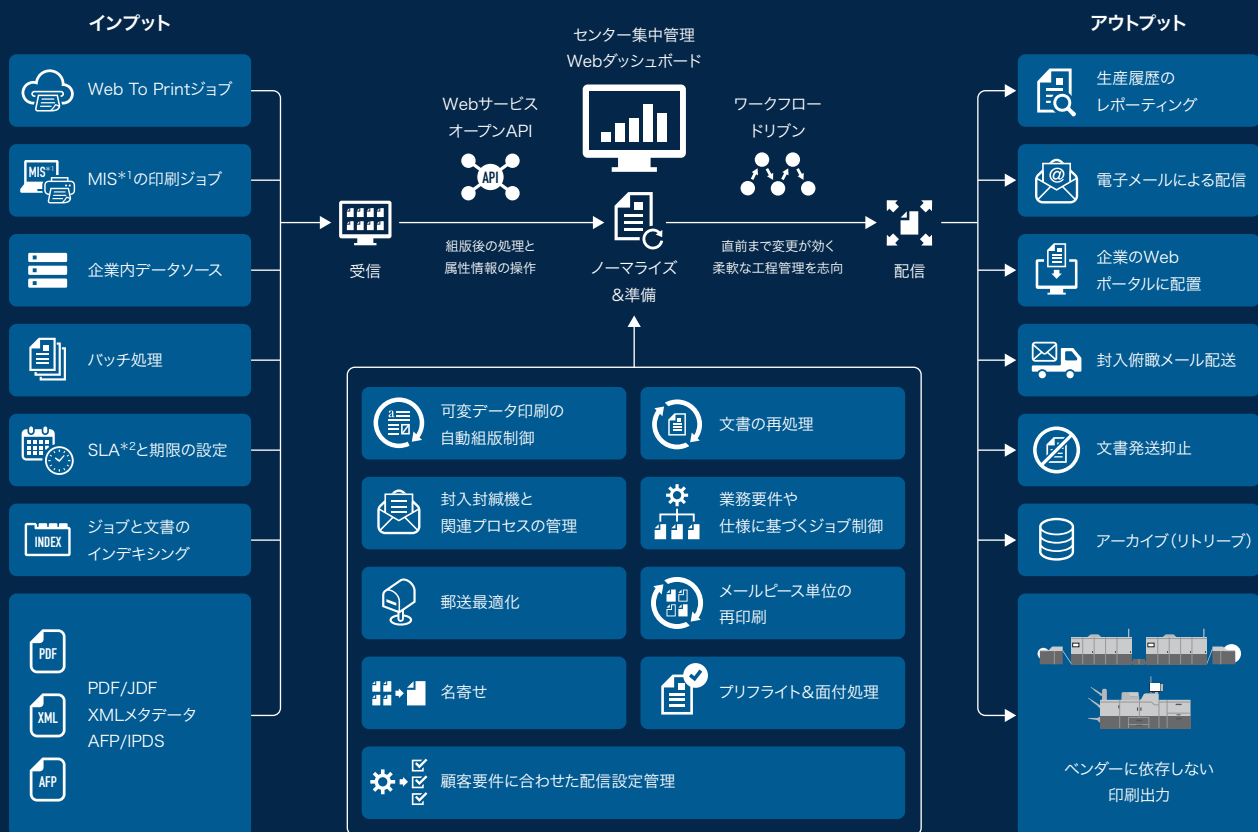
分析結果からワークフロー、業務処理、設備を改善し、
業務改善のサイクルを回していきます。



RICOH ProcessDirectorは、 プロダクション・エコシステムにおいて、 お客様のビジネスをドライブする核に

エコシステムとは、「生態系」意味する英単語。ビジネス分野では、互いに独立した企業や事業、製品、サービスなどが相互に依存しあって一つのビジネス環境を構成する様子を生物の生態系になぞらえてこのように呼ぶことがあります。そして、下図で表現するのは、ドキュメントに関わるプロダクション・プリンティングのエコシステムです。RICOH ProcessDirectorは、その中核ソリューションとして提供され、集中管理を司る統合ワークフロー管理システムに位置付けられます。このコンセプトの下、プラグインアーキテクチャーによる柔軟性で、ADF(Automated Document Factory)や、Book OnDemandといったソリューションを提供できるのが、RICOH ProcessDirectorの特長です。

ドキュメント・プロダクション・エコシステム



*1 Management Information Systemの略称です。*2 Service Level Agreementの略語です。サービスの納期など、サービスの提供者と利用者間で結ばれる契約(合意した条件)を意味します。

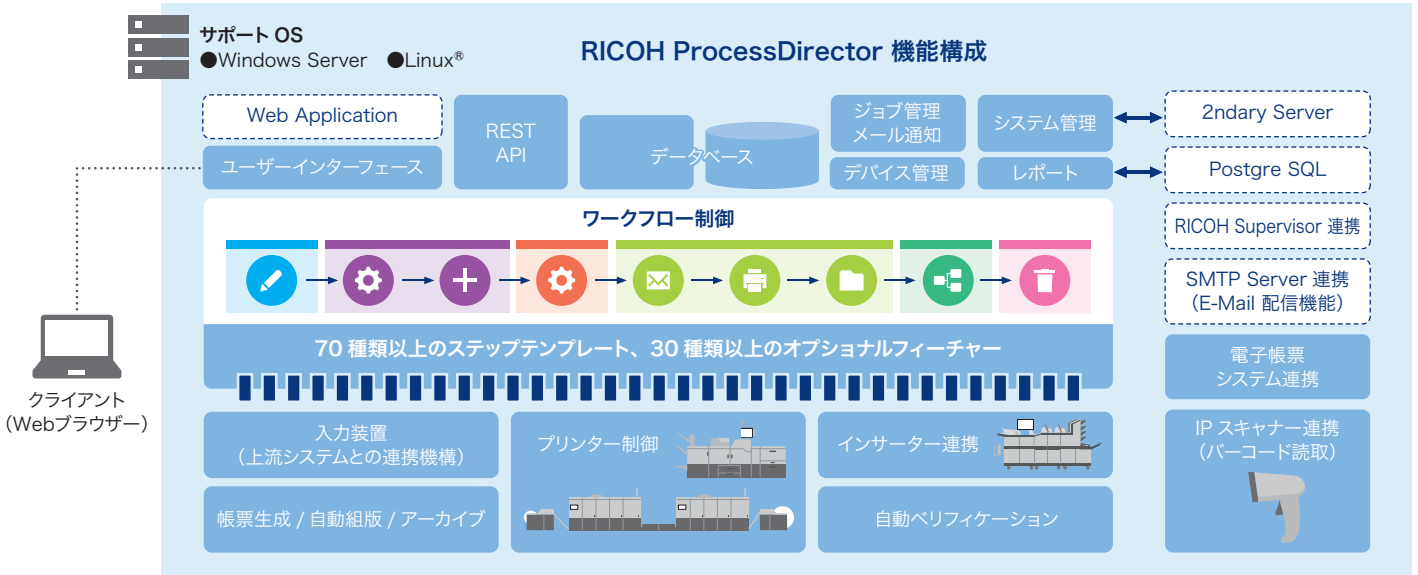
変化するコンピューターアウトプットの形態やシステム技術にも追従

システムズ・アーキテクチャーの方向性は、SOAを目指しつつも、レガシーシステムやSaaSが併存するAPIエコノミーへと、移り変わってきました。SOAPとRESTの両方のWebサービスプロトコル、および共通コマンドをRICOH ProcessDirectorは、オプションでサポートし、ク

ラウド化への流れにも対応してきました。ユーザーインターフェースやレポートフィーチャーにもREST APIが実装されており、iPaaSなどによる連携だけではカバーし得ない印刷基盤としてのシステム要件を包含しつつ、そのベンダーニュートラルな接続性が強みとなっております。

強力なデータベース機能を擁するワークフロー管理システム

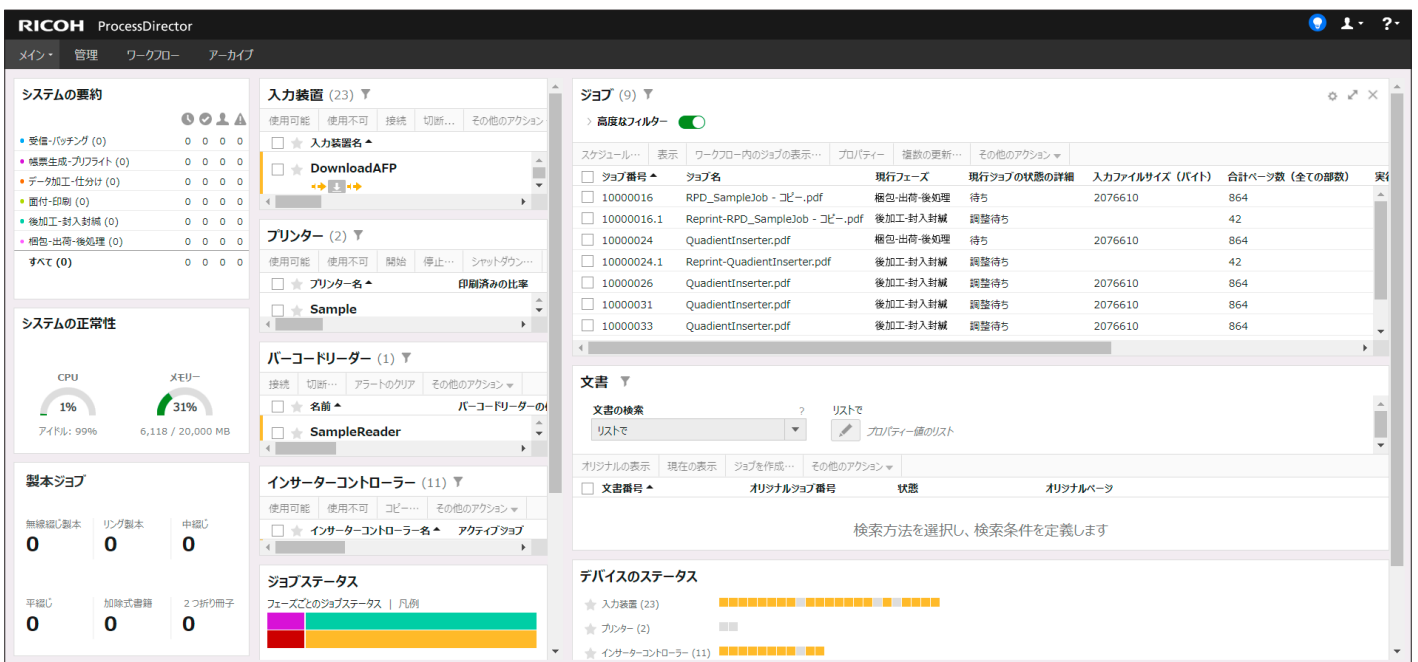
- 強力なデータベースと、豊富な機能を提供するワークフローエンジンを核とするワークフロー管理システムです。
- 提供されるプログラム群(ステップテンプレート)や、ユーザープログラムをワークフローにプラグインし、ワークフローをドライブできます。



上流システムとは多様な連携機能を持ち、入力ファイルのグルーピング処理も行えます。接続したプリンターとの間では、JMFやIPDSによるジョブ印刷制御に加え、SNMP V3によるデバイス状況把握もできます。更に、メールによる配信、PDF保管、電子帳票システム連携などマルチチャネル出力にも対応します。その他にも、印刷物のバーコード管理、後加工機とのJDF連携や、メールの封入管理、セカンダリーサーバーによる処理能力の拡張、レポート機能によるBIツールと連携した見える化など、プロダクション・ワークフローをエンド・ツー・エンドで支える豊富な機能を提供します。

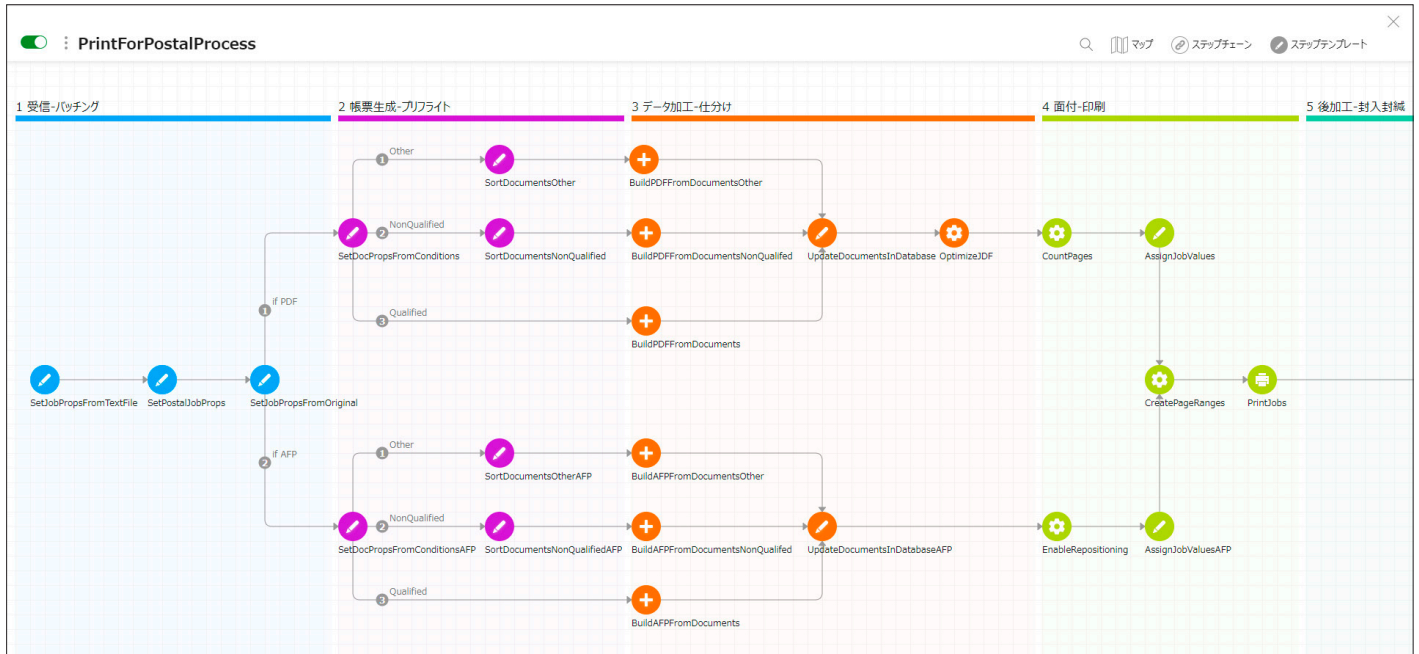
自らデザインできるメイン画面

- クライアント操作は、Webブラウザで行います。
- ポートレットの小窓を配したメイン画面からは、生産工程全体を見渡せます。また、表示させるポートレットは選択可能です。
- 全体を俯瞰した状態から小窓を広げて、システム、デバイスの状況監視、ジョブの運用指示など、具体的な操作に素早く推移できます。
- 画面は、ユーザー毎にカスタマイズ可能で、持ち場に応じた直感的で使いやすい操作ができます。
- データベース機能をフルに活かし、様々な切り口や絞り込みでジョブを表示させ効率的な運用が行えます。
- カスタムポートレット機能には、各種データのスコアボード表示機能も加わり、オペレーターに容易な判断材料を提示できます。



ワークフローが容易に組めるビジュアル・ワークフロー・ビルダー

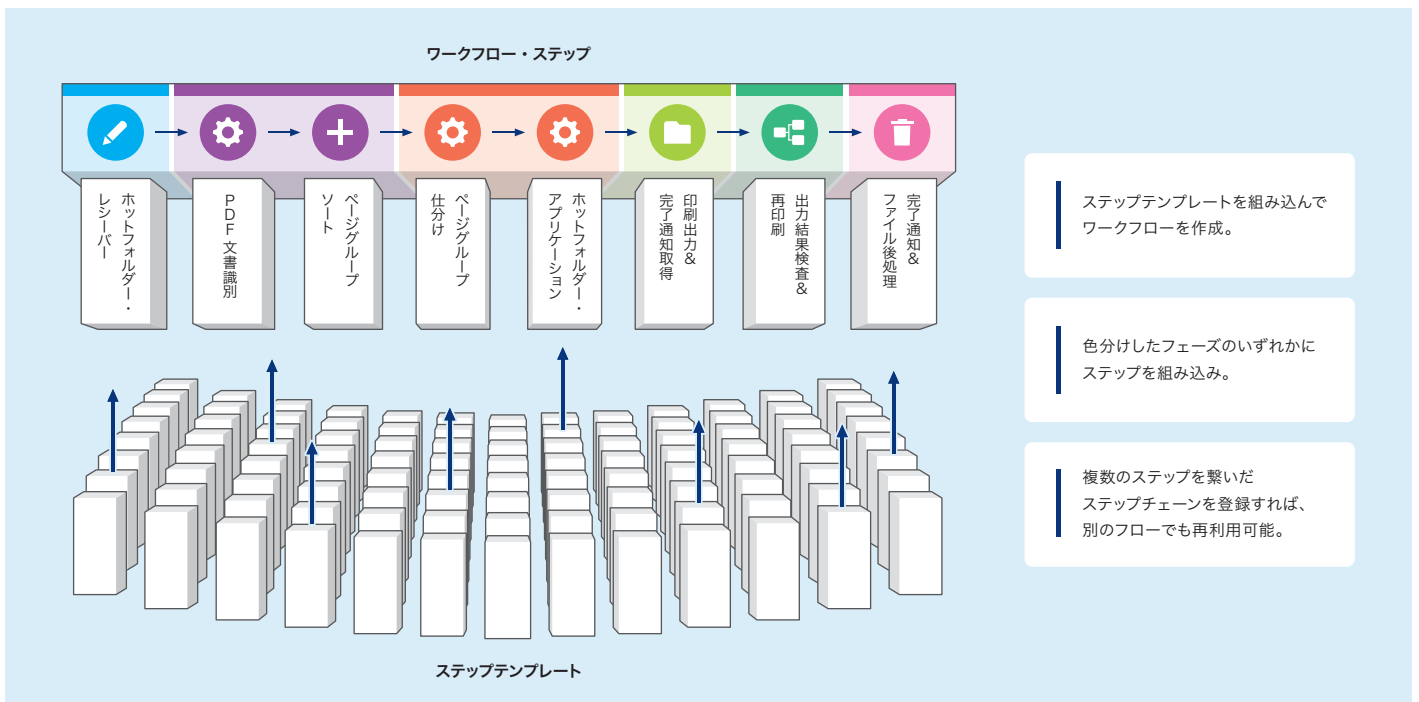
- ステップテンプレート*をプルダウンメニューで選び、ドラッグ&ドロップで自由に配置。フローを繋げていくことで、容易にワークフローが組めます。
- 配置した各ステップテンプレートは、アイコンを右クリックしてパラメーター設定が行え、各プログラムの動かし方を制御できます。
- フェーズ(下図の場合1~4)のネーミングと色を自由に設定でき、メイン画面で進捗を要約して見られます。



* ワークフローのステップで動かすプログラム毎に用意された実行のひな形。

ワークフローで稼働させる豊富なプログラム群

- 印刷に特化したワークフローソフトとして、ベース機能だけでも70種類以上の各ステップで稼働させる印刷に関わるプログラムが提供されます。
- ワークフローステップの各処理は、ステップテンプレートを使うことで、プログラムコードを書くことなく、設定だけで組み込めます。
- 外部プログラムを呼び出すステップテンプレートもあり、お客様開発のプログラムや既存ソフトウェアも、ワークフローに組み込めます。(コマンド起動またはホットフォルダー連携)



便利なアプリケーション インターフェース

- 印刷データ生成するアプリケーションとは、以下の方法でデータの授受が行なえます。
 - ①ホットフォルダー連携
 - ②SFTP連携
 - ③IBM® ホスト連携
 - ④Webサービス連携(REST/SOAP)*
 - ⑤LPR/LPD
- ホットフォルダー連携においては、受信ファイルをグルーピングして処理するバッチング機能があります。
- IBMのメインフレームとは、専用のレシーバー機能により連携できます。レシーバーは、以下のIBMのソフトウェアとの連携により、メインフレームからスプールデータと共にJCLの情報を引き継ぎます。
 - Download for z/OS ●AFP Download Plus
 これにより、各ジョブ属性は、RPDのワークフロー処理に引き継ぐことができ、印刷基盤をメインフレームからダウンサイジングする際の要件に対し、適切な移行手段が選べます。

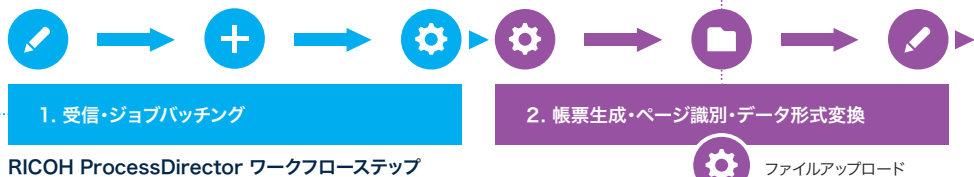
* 有償オプション。

上流のアプリケーション

IBMホスト
AFP Download Plus (z/OS)
Download for z/OS
受信フェーズでは、メインフレームからのレシーブ機能が使えます。

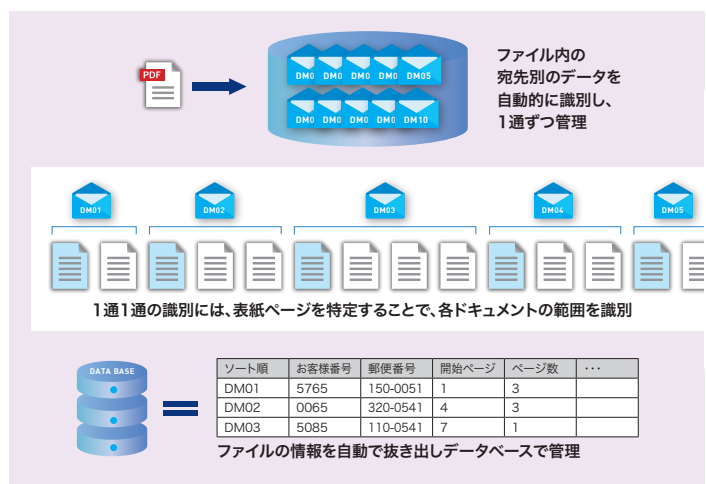
Webアプリケーション(API連携)

基幹業務アプリケーション
Hot Folder/LPRクライアント(AFP/PDF)



DMや請求書の宛先別のドキュメントを 自動識別して管理

- AFPサポート機能や、Quadient® Inspire 連携等により、AFP形式やPDF形式の帳票生成(自動組版)が行えます。
- 帳票を生成する場合でも、PDFが入稿される場合でも、印刷ファイルに含まれる個々のドキュメントを1通ずつ識別し、データベースで管理できます。
- 1通1通の識別は、表紙ページを特定することで、ページグループの区切りを判別して行います(下図参照)



ファイル内のドキュメントの識別と操作が可能

表紙の特定

- ページ内の特定の位置にある特定の文字列で表紙ページを判別し、ページグループの境界を定めます。これにより、ファイルに含まれるドキュメントをページグループとして識別して扱えるようになります。

ドキュメント属性値の抽出

- ページ内の特定位置にある文字列を属性値として抽出でき、データベースに格納して利用可能。ドキュメントの操作に利用でき、検索表示、仕分けやソート/分類、再印刷などに活用できます。

データの挿入

- ページ連番などのテキスト、バーコード、イメージなどをページ上に挿入できます。後加工機の制御や、再印刷/再発行、トラッキング、運用管理などに利用できます。

※専用のAcrobatのプラグインプログラムにより、ドキュメントに対する操作はWYSIWIGにて容易に定義できます。



お客番号: 91000010
 配送センター: ●●川●見センター
 発行日: 2012年1月30日

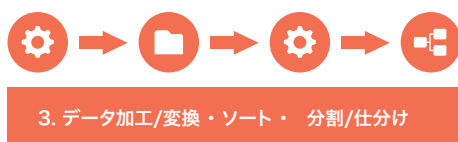
注文No	区分	ご注文商品名・情報	数量	単価	金額	備考
200	冷凍	徳用ミニアメリカンドック 10個	1	358	358	
475	*	とろーり大きなご焼き 20個	2	399	798	
477	*	冷凍たい焼き 8.5g×5	1	498	498	
287	冷蔵	産地たまご少量(赤玉ピンク玉)	6個	1170	1170	
288	*	エコ・ほうれん草 1袋	1	198	198	
132	*	こんせん72牛乳 1000ml	2	220	440	
		よりどり牛乳 徳利①		-5	-5	
132	*	酪農家の牛乳 1000ml	2	220	440	
		よりどり牛乳 徳利②		-5	-5	

※表示画面および印刷帳票の出力例がある場合、特に断り書きのない出力例のデータ部分はすべて架空のものです。
 ※上記はPDF文書処理サポートにより提供される機能です。AFP帳票に対する同様の機能はAFPサポート(有償オプション)により提供されます。

ドキュメントレベルの 操作・管理を実現

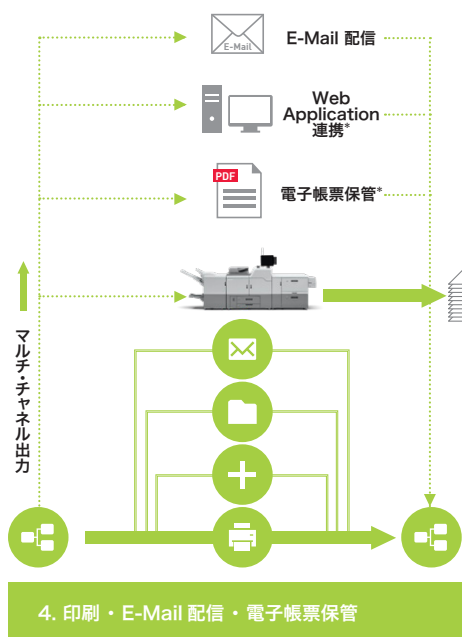
- 帳票生成・ドキュメントの識別、データ形式変換のフェーズを済ませた後、ソート、分割/仕分け、結合、プリフライト、面付など、様々なステップを組み入れられます。
- 指定時刻まで待機する機能もあり、修正締め切り時刻を設定すれば、ワークフローリボンで、この業務上の規定を運用に乗せられます。

ステッププレート設定画面



マルチ・チャンネル 出力対応

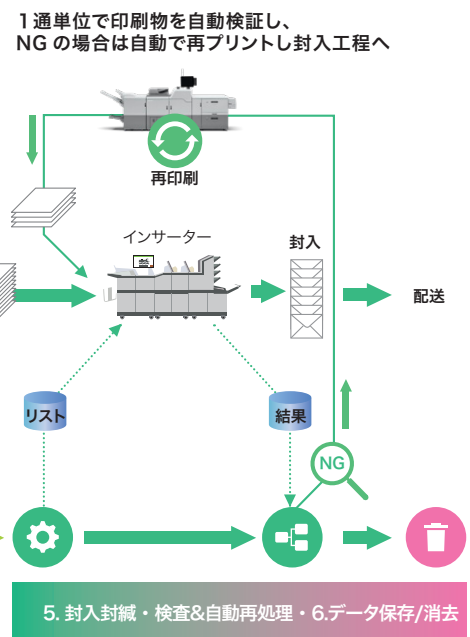
- AFPプリンターとの双方向通信を行う高度な管理機能により、送信から印刷完了までの状況をしっかり把握します。
- 印刷結果が本来予定したとおり印刷されているかを照合し、必要に応じてオペレーター操作で再処理や再印刷を行うマニュアルリコンサイル機能を標準で搭載しています。



* 有償オプション。

インサーター処理まで、 ドキュメント単位で管理

- ドキュメント単位の管理は、インサーター(封入封緘機)と連携した処理まで拡張可能。1通1通の情報をインサーターに送り、結果を得ることで、ドキュメント単位のトラッキングを実現します。また、通単位で印刷物を自動検証し、必要に応じて再プリントファイルを作成します。



* 有償オプション。

要件に応じて、豊富なオプション機能を選択可能

- プラグインアーキテクチャーにより、様々な機能やパフォーマンス向上をお届けするオプションを追加していただけます。
- PDFファイル内のドキュメントを識別し、操作して印刷できる基本機能「PDF文書処理サポート」は、ベースフィーチャーに含まれています。
- 当社のプロフェッショナルサービスによるプログラム開発は、担当営業にご相談下さい。

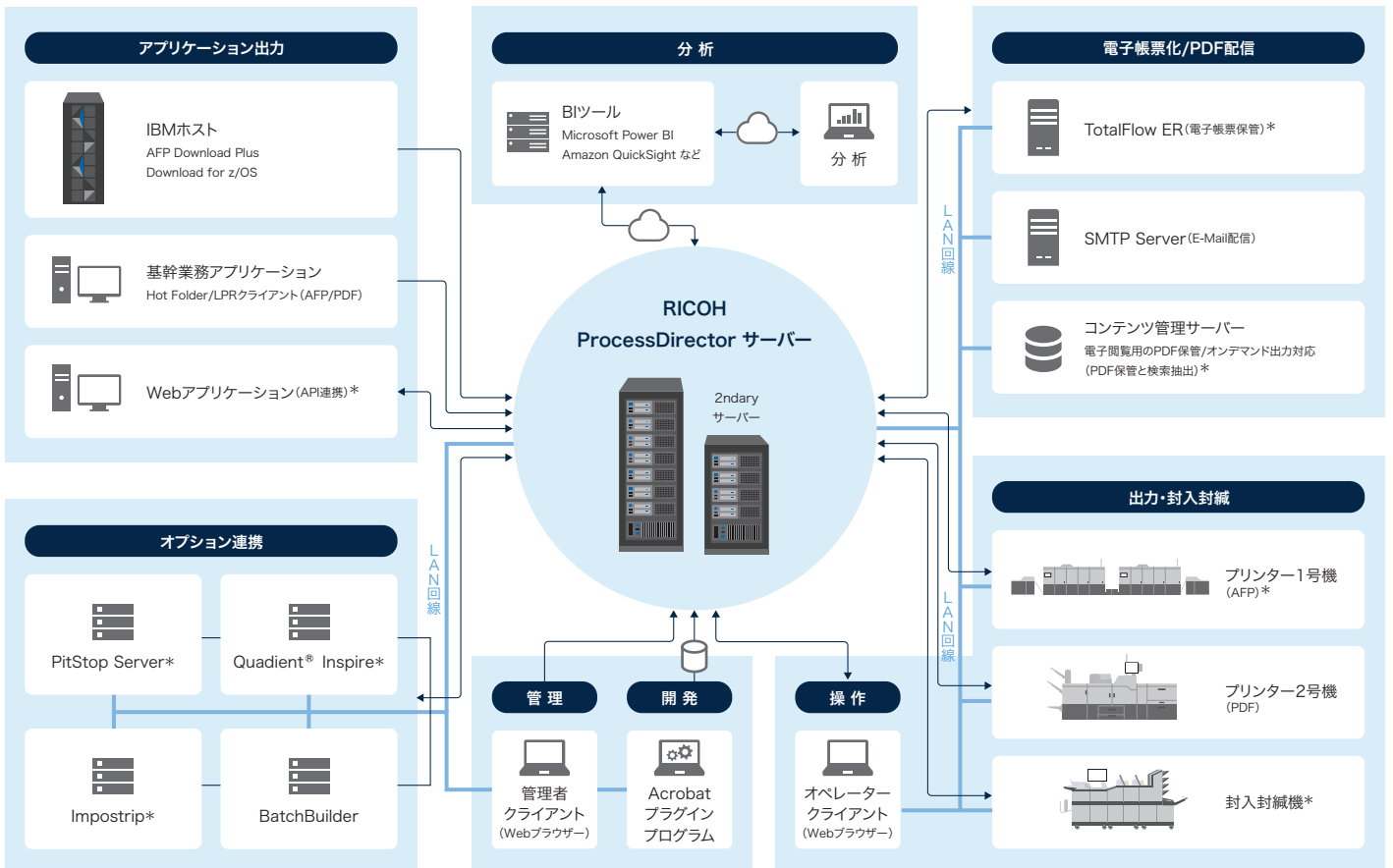
<p>RICOH Supervisor 連携</p> <p>インサーター連携</p> <p>ホワイトスペース・マネージャー</p> <p>PitStop Server 連携</p> <p>各種データ変換</p> <p>AFPサポート</p> <p>WPM/ER連携 (電子帳票)</p>	<p>AFPエディター</p> <p>Quadiant® インサーター連携</p> <p>デッドライン・トラッカー</p> <p>Ultimate Impostrip 連携</p> <p>AFP2PDF Plus (別売)</p> <p>セカンダリーサーバー*2</p> <p>電子プレゼント*1</p>	<p>自動ペリフィケーション</p> <p>アーカイブ</p> <p>Advanced Document Pool*3</p> <p>Quadiant® Inspire 連携</p> <p>Web サービス対応</p> <p>プレ印刷用紙リプレース</p> <p>カットシートプリンターサポート Ricoh Pro(PS, JDF)</p>	<p>出力管理</p> <p>ワークフロー自動化</p> <p>トラッキングとコンプライアンス</p> <p>マルチチャンネル配信</p> <p>基本機能</p>
---	--	--	---

RICOH ProcessDirector ベース・フィーチャー

- PDF文書処理サポート
- ローカル・セカンダリー・サーバー (Windows版)
- Adobe Acrobat プラグイン for RPD (文書識別用ツール)
- E-Mail 文書配信
- レポート機能
- アリファレンス管理
- 高度なセキュリティー機能
- マニュアル・リコンサイル (照合機能)

*1 アーカイブフィーチャーの中で提供。 *2 Windows版のLocal 2ndary Serverは基本機能として提供。 *3 米国リコーで提供しているプロフェッショナル・サービスです。

システム構成・イメージ図



データの流れ * 有償オプションにて連携

前提環境

RICOH ProcessDirector サーバー動作環境

商品名	RICOH ProcessDirector		
プラットフォーム	Linux	Windows	
ハードウェア	CPU	2.8GHz 以上のプロセッサー 1個以上	3.1GHz 以上のプロセッサー 1個以上
	メモリ	8GB 以上*	8GB 以上*
	ストレージ	200GB 以上*	200GB 以上*
	ディスプレイ	解像度 1,280x800 以上	解像度 1,280x800 以上
	その他	LAN 接続環境	LAN 接続環境
ソフトウェア	オペレーティングシステム	基本サーバー および 2次サーバー (64-bit) Red Hat Enterprise Linux™(RHEL) V8 (8.1以降) Red Hat Enterprise Linux™(RHEL) V7 (7.6以降) CentOS Linux (x86_64向け) V7 (7.9以降) SUSE Linux Enterprise Server(SLES) V15 (SP1以降) SUSE Linux Enterprise Server(SLES) V12 (SP4以降) Rocky Linux V8 (8.4以降) Rocky Linux V9 (9.0以降)	基本サーバー (64-bit) Windows Server 2022 Windows Server 2019
	webブラウザ	Mozilla Firefox® 最新サービスレベル/Google Chrome™ 最新サービスレベル	
	PDF Viewer	Adobe Reader™10.11又はDC	

記載スペックは稼働環境上、必要最小限の要件を記載しています。導入時には最新情報をご確認いただき、十分な稼働環境をお選びください。
 * 次の機能(オプション・フィーチャー又は、ベースフィーチャーに含まれる機能)の使用時は16GB以上のメモリーが必要です。(自動ペリフェリション・アーカイブ・インサーター・AFPサポートの各オプション・PDFドキュメントサポート機能)。
 Transforms(Adobe PostScript®/PDF to AFP, PCL to AFP, SAP® to AFP)オプション使用時は、追加メモリーと追加ディスクが必要となります。詳細はお問い合わせください。
 ※AFPデータに対応するには、AFPサポート・オプションが必要です。
 ※仮想化技術(Vmware®等)については正式なテストおよびサポートはされていません。ただし、特定のお客様環境での稼働実績がございます。具体的な構成はSALレビューにて確認してください。
 ※当商品は、ベースフィーチャーに複数のオプション・フィーチャーを組み合わせて販売されるソフトウェアです。掲載されている機能の説明は、オプション・フィーチャーの購入が前提となる場合がございます。

Adobe Acrobat 用RPDプラグイン動作環境

ハードウェア		1024 x 768 ピクセル以上のモニター解像度
		JRE専用、最小2GB以上のRAM 処理する文書の数に応じた、追加のハードドライブ空き容量および、メモリーが必要になります。
ソフトウェア	オペレーティングシステム	Windows 10, Windows 11 Pro, Windows Server 2016, Windows Server 2019 又は、Windows Server 2022
	Java Runtime Environment	JRE バージョン1.8 64ビットバージョン
	Adobe Acrobat	Adobe Acrobat Pro 2020 または Pro DC

※Amazon Web Services, AWS, Powered by AWS ロゴ, Amazon QuickSightは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。※IBM, z/OSは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corp.の商標です。※Adobe, PostScript, Reader, Acrobatは、Adobe Incorporatedの米国ならびに他の国における商標または登録商標です。※PDFは、Adobe PDFです。※Windows, Windows server, Microsoft, Power BI は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。※Linuxは、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。※Rocky Linux はRocky Enterprise Software Foundationの商標または登録商標です。※Red Hat, Enterprise Linux, RHEL, CentOSは、Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。※Google Chrome, Android, ChromiumはGoogle LLC.の商標です。※Firefoxは、Mozilla Foundationの登録商標です。※iPadは、Apple Inc.の商標です。※iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスのもとで使われています。※SUSEは、米国およびその他の国におけるNovell, Inc.の登録商標または商標です。※SAPは、ドイツおよびその他の国々におけるSAP SEの商標または登録商標です。※PCLは、米国Hewlett-Packard社の登録商標です。※VMwareは、米国およびその他の地域におけるVmware, Inc. の登録商標または商標です。※その他の製品名、会社名、およびサービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

●このカタログに使用されている製品の写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。また、仕様は事前の予告なしに変更することがあります。●表示画面および印刷帳票の出力例がある場合、特に断り書きのない出力例のデータ部分はすべて架空のものです。●製品サービス等詳細については、製品販売店、弊社営業担当員にご相談ください。●このカタログに掲載している内容、標準価格および料金は、事前の予告なしに変更することがあります。また、断り書きのない場合掲載価格は税込価格です。最新の情報に関しては、弊社インターネットホームページをご参照ください。



株式会社リコー
東京都大田区中馬込1-3-6 〒143-8555

<https://www.ricoh.co.jp/pp>

■リコーにご提供いただいたお客様の個人情報の取り扱い方針については、当社ホームページでご確認いただけます。 ■お問い合わせは、ダイヤルInfoPrintまで。

ダイヤル InfoPrint 0120-068-088

●受付時間は、月曜日～金曜日9:00～12:00 13:00～17:30(土、日、祝祭日、弊社休業日を除く) *通話料は無料です。

このカタログはRICOH Pro Cシリーズで印刷しています。

●お問い合わせ・ご用命は・・・

このカタログの記載内容は、2024年5月現在のものです。

1008PH-2405<34142488>21/P